

事務事業評価シート 平成 28 年度事後評価・決算

平成 30 年 2 月 22 日時点

事務事業名		コード	40300 市民会館活動費	予算科目	会計	款	項	目	担当班	社会教育施設班
① (市民会館活動費)(講座)		12	生涯学習の充実	根拠法令	旭市民会館の設置及び管理に関する条例、条例施行規則	10	4	3	☒ 主な事業	☐ 国土強靱化地域計画
② 生涯学習機会の充実		23	生涯学習機会の充実	戦略事業	122 生涯学習施設活動費				☒ 新市建設計画	☐ 定住自立圏構想
③ 生涯学習講座の開催				戦略事業	123 生涯学習講座の開催				☐ 主要事業	

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間	② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない
☒ 単年度繰返 ☒ 昭和 41 年度～ ☐ 開始年度不詳 ☐ 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで	市民の福利増進及び教育文化の向上を図り、産業の発展及び市政の振興に寄与するため、主催講座事業を実施する。
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状	④ 事務事業に関する課題・環境の変化
主催講座であるふるさと歴史講座は、松井安俊氏が文書館嘱託に着任以来郷土史の理解を深めるため20年近く続いている。	建物が老朽化しており、主催講座の会場として最大限機能するよう心がけているが、理想的な環境を提供できない事態もしばしばある。
⑤ 事務事業に対する住民からの意見等	
街中の便利な場所に位置しているが、駐車場がせまいのが難点だという利用者の声が多い。	

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細(28年度の決算)		単位:千円
1. 役務費	84	通信運搬費、保険料
2. 報償費	39	報償金
3. 需用費	10	消耗品費、燃料費
② 特定財源の内訳(28年度の決算)		単位:千円
1. 国庫支出金	0	
2. 都道府県支出金	0	
3. 地方債	0	
4. その他	0	

事業費	費目内訳	単位	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(予算)
事業費	1. 役務費	千円	85	81	81	84	85
	2. 報償費	千円	39	39	38	39	39
	3. 需用費	千円	38	30	7	10	37
	事業費計(A)	千円	162	150	126	133	161
	財源	千円					
財源	1. 国庫支出金	千円					
	2. 都道府県支出金	千円					
	3. 地方債	千円					
	4. その他	千円					
	5. 一般財源	千円	162	150	126	133	161

前年度増減理由	燃料費と切手の購入
---------	-----------

従事職員数	常時	4人	最大	人	×	日	=	延べ	0人
-------	----	----	----	---	---	---	---	----	----

(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

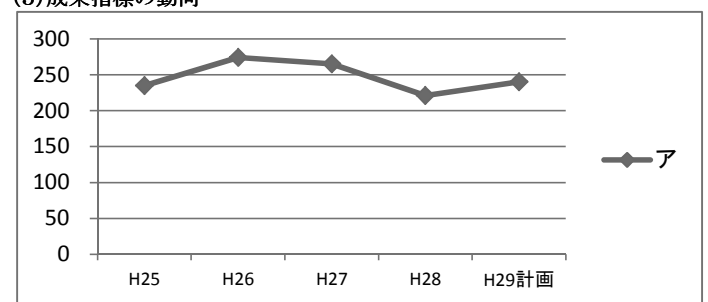
手段	① 主な活動	⇒	③ 活動指標名	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
	28年度実績(28年度に行った主な活動) 主催講座:ふるさと歴史講座(5～2月 全7回)		ア 主催講座申込者数(講座定員)	人(人)	61(100)	63(50)	61(50)	52(50)	52(50)
目的	② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)		④ 成果指標名	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
	対象意図 市内に住所を有する方 郷土の歴史を講座で学ぶ 対象意図		ア ふるさと歴史講座受講者数(延べ)	人	235	274	265	221	240
			イ						

(4) 事務事業優先度評価の結果

① 成果優先度評価結果		成果向上余地		
施策貢献度	大きい			
	普通			
	小さい			⑨

② コスト削減優先度評価結果		コスト比率		
評価結果	①	下位 1/3	中位 1/3	上位 1/3
	②			
	③			
	④⑤			
	⑥			
	⑦⑧	(7)		
	⑨			

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

評価内容	① 進捗状況		☐完了 ☐順調 ☒概ね順調 ☐停滞 ☐実施困難											
	【コメント】 (停滞・未実施・実施困難の場合、その理由)													
	② 成果の状況	成果指標ア 成果指標イ	成果指標 のタイプ	☐数値増＝成果向上	☐向上	☐横ばい	☒低下	成果 動向	比較	24年度 25年度	25年度 26年度	26年度 27年度	27年度 28年度	28年度 29計画
	【コメント】 (低下の場合、その理由)	講座申込者数の減。同一講座の継続が理由と考えられる。							ア	△28	39	△9	△44	19
									イ					
③ 今年度取組事項 (29年度に取り組む主な事項について記載)	時期	内容		今後の 方向性	☐拡大 ☐縮小 ☒現状維持 ☐廃止・休止 ☐見直し ☐その他()									
平成29年度中	主催教室の立案、再検討を行う。		平成29年度以降		今後の生涯学習活動を見据え、主催講座の立案、再検討を行う。									